

環境心理行動学(EBS) をなぜ学ぶのか

建築行為の失敗をなくすため:

- a. 使用者の行動に対する無知と仮説の誤りによる失敗

例 → アイゴー団地の失敗

環境設計者(建築家)と使用者との乖離

⇒ ユーザ研究の必要性

- b. 構築環境の複雑化, 巨大化による予測の誤りによる失敗

例 → 地下空間における迷い(大阪梅田地下街)

⇒ 基本的な心理・行動研究の必要性

環境知覚を理解することの重要性

Importance of understanding Environmental Perception

建築・都市空間のデザイン

⇒その空間での体験をデザインすること

Architectural / Urban Design

⇒Design of human experience in the environment

ある環境における体験

⇒その環境からどのような情報を受け取るかによる

The experience in an environment

⇒ depend on what information is received.

環境から情報を受け取る人間のしくみ

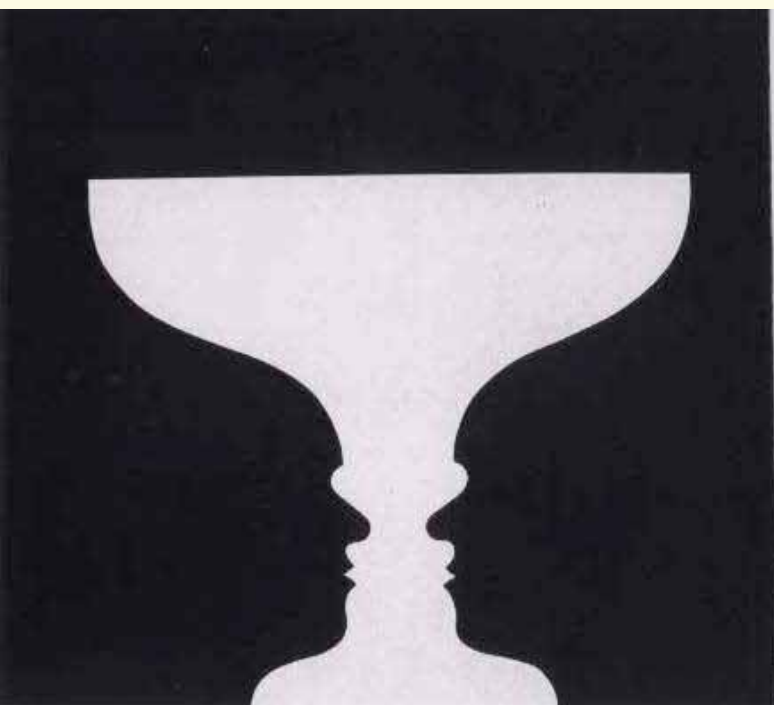
⇒「環境知覚」

The mechanism for processing information of the environment

⇒Environmental Perception

従来の知覚理論で説明可能か？

The knowledge derived from conventional experiment can be applicable to Environmental perception?



図と地の反転図形

(Figure and Ground: Edgar Rubin, 1915)



周辺も含む膨大で複雑な環境情報

(西芳寺)

モノ（object）の知覚と異なる環境（environment）の 知覚の基本的特性

Characteristics of Environment Perception as contrasted with Object Perception

(Ittelson, W.* Environment perception, in W. Ittelson et al (eds.) An Introduction to Environmental Psychology, pp. 102-109, 1977より)

(a) The environmental information is obtained through all senses.

環境からの情報はすべての感覚を通して受け取られる。

環境知覚における諸感覚の特性と役割

Differentiation among senses

ALLOCENTRIC (他者中心)

(対象の知的理解) understanding

↑ 視覚 vision

強 strong

聴覚 hearing

↑
注意の指向性 directionality

嗅覚 olfaction

↓
弱 weak

非接触性 (空間知覚)

↓ 触覚 tactile

味覚 taste

接触性

AUTOCENTRIC (自己中心)

(主体の感情／情緒) feeling / pleasure

(五感以外の感覚) other senses

運動感覚 (kinesthesia)

多感覚による環境(風景)の知覚

Multi-sensory perception

視覚 vision

景觀

landscape

聴覚 hearing

音風景

soundscape
(R. M. Schafer)

嗅覚 olfaction

におい風景

smellscape
(J.D. Porteous)

ランドスケープ



ランドスケープ

さまざまな都市景観



(ドイツ コットブス)



■水の都市



ヴェネチアのサンマルコ広場

シドニーのオペラハウス



■水の都市

香港アバディーン地区



■山の都市



シエナのカンポ広場



サンジミアーノの石塔



アッシージのサン・フランチェスコ
聖堂

■山の都市

ス



南スペインのミハス

■山の都市



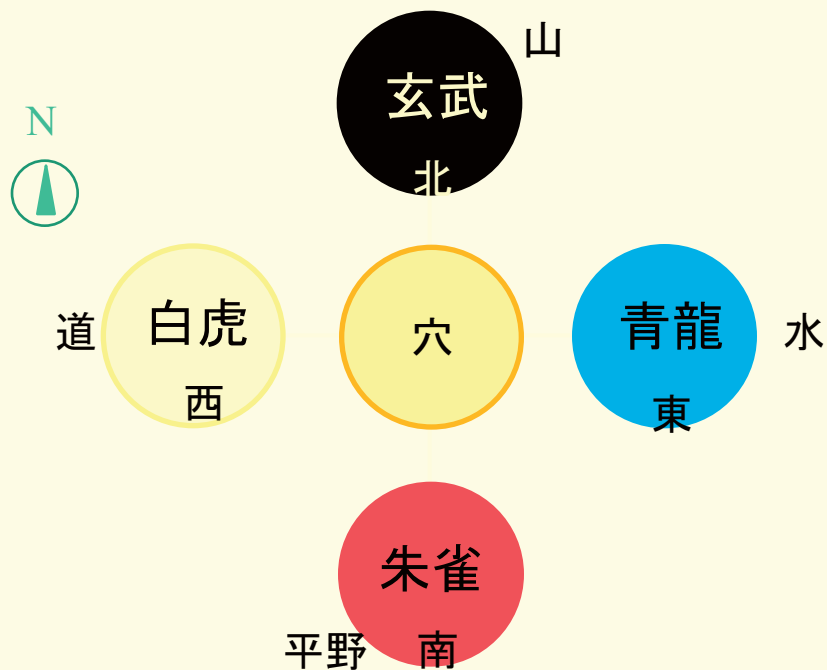
重慶 (中国)



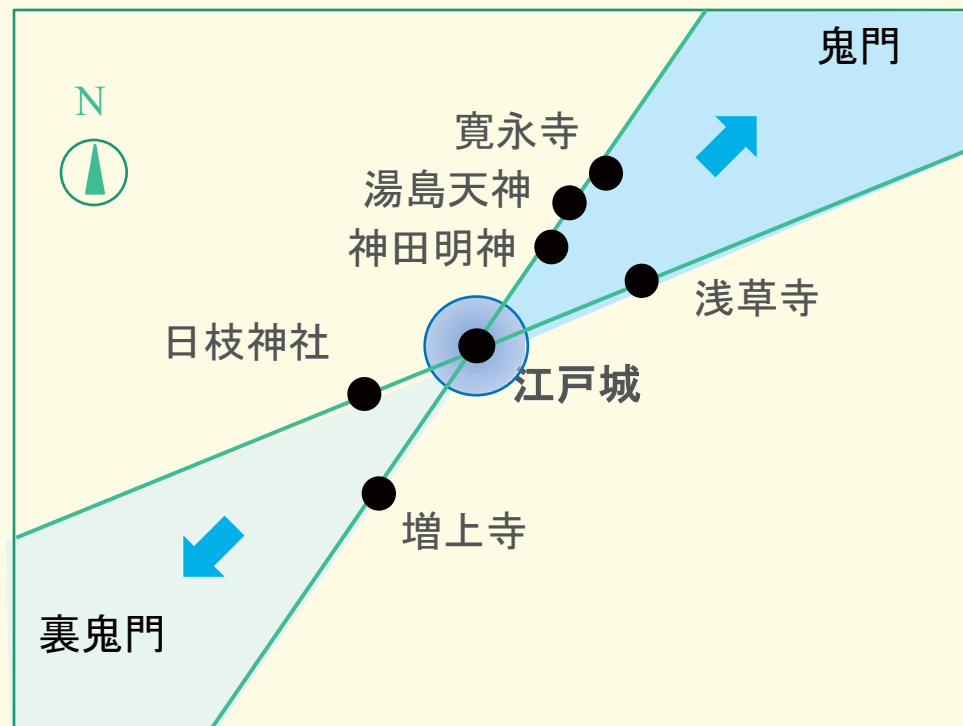
■山の都市



■ 平地の都市



風水の四神相応



東京の社寺の配置

左右対称の故宮(北京)

■ 平地の都市



ナショナル・モール(ワシントン)

■ 平地の都市



■文化都市

ミケランジェロ広場からフィレンツェ市街を望む



サンタ・マリア・ノヴェルラ教会



サンタ・マリア・デル・フィオーレ大聖堂

■城郭都市



南フランスのカルカソンヌ



中国山西省の平遥



■ 宗教都市



ポタラ宮（ラサ）



サン・ピエトロ大聖堂のアプローチ
（バチカン）

アヤソフィア（イスタンブール）



幻想的な空中都市 マチュピチュ



マチュピチュを望む



朝靄の中から徐々に全姿を見せる



石積みでつくられた段々畑

景観とは？



シカゴ(アメリカ)

■ 景観と風景



日本の農村

「景観」は、外来のランドスケープ (landscape) の訳語で、それまでの日本語の「風景」が主観的な心情を表現する場合にもよく用いられるのに対して、より客観的な視覚的要素の構成が作り出す様相を表現するのに使われる。風景や風光は自然のみを対象とした場合もあり得るが、景観は何らかの人間の関与がある場合が多い。

世界中のさまざまなところで、それぞれの住まい方がされている。そういう営みを支えるシステムが文化であり、それが何年も、何世代も受け継がれて蓄積されて、視覚的に現れたのが景観。



イランの集落



ペルーのチチカカ湖に浮かぶウロス島

■都市の耐色性

(日本の例)

都市の景観もそこでの生活文化が生み出したものと言える。建築を覆う醜い看板や、傍若無人に走る高速道路を見て、ひどい景観だと思っても、それはそこに住んでいる人たちの商業活動や効率第一主義の価値観の現れであり、それを求めて生活している以上、認めざるを得ないことかもしれない。



看板がファサードをつくる建築／秋葉原



高速道路下の日本橋



閑静な住宅街に立つ赤白縞の住宅

■ハイブリッド景観

首尾一貫した統一原理に基づいて作られた建築・都市空間よりも、異なる意図が時間をかけて積上げられてできたハイブリッド空間が面白い



旧偽満州国国務院(現吉林大学)

■ ハイブリッド景観

メスキータ(コルドバ)



■ ハイブリッド景観

シンガポールのショップハウスは一階が店舗になっている住居形式で、日本でいえば町屋である。ここが英領であったころのコロニアル・スタイルの街並みが保存すべき歴史的地区に指定されている。

シンガポールだけではなく、東南アジアの国々では、植民地時代の暗い歴史を逆手にとって、その時代に刻まれた街の姿をその都市のアイデンティティととらえ、積極的に「植民地遺産」として受け入れようとしているようである。



■ なごり景観

ある地域で、ある一時期にある人間活動が集中して行われ、今日では過去のものとなって、その痕跡が残ると「なごり景観」を形成する。歴史的町並保存というのは、どれもこれにあたる。



ティンバー・フレームの「白黒復古建築」



チェスター市庁舎わきにあるファーストフード店の控えめな看板(昼と夜)



近年、産業革命以降に作られた建造物や工作物が「産業遺産」として、人々の関心を集めている。ま
ちに残るかつて繁栄した産業のなごりは、ほかには見られないそのまじらしさ、つまりアイデンティ
ティとなり得る。

ドイツのルール地方のドルトムント市は、かつて「鉄と石炭の街」と呼ばれたが、そこには旧フェニックス製鉄所が産業遺産として保存されている。また、その近くのツォレルン第2・第4炭坑には、1900年前後に建てられた赤レンガ造施設も保存されている。なかでも動力棟は、ユーゲント様式で装飾された鉄の出入口があり、当時「労働者の城」と呼ばれたのもうなずける立派な建築である。



ドルトムントの旧フェニックス製鉄所



旧ツォレルン第2・第4炭坑(ヴェストファーレン産業博物館)



■ なごり景観

日本においても、平成19年に経済産業省が地域活性化に役立てようと全国各地から「近代化産業遺産群33」を認定した。そのリストにはないが、最近一般に公開されて人気を呼んでいるのが長崎の端島、通称「軍艦島」である。



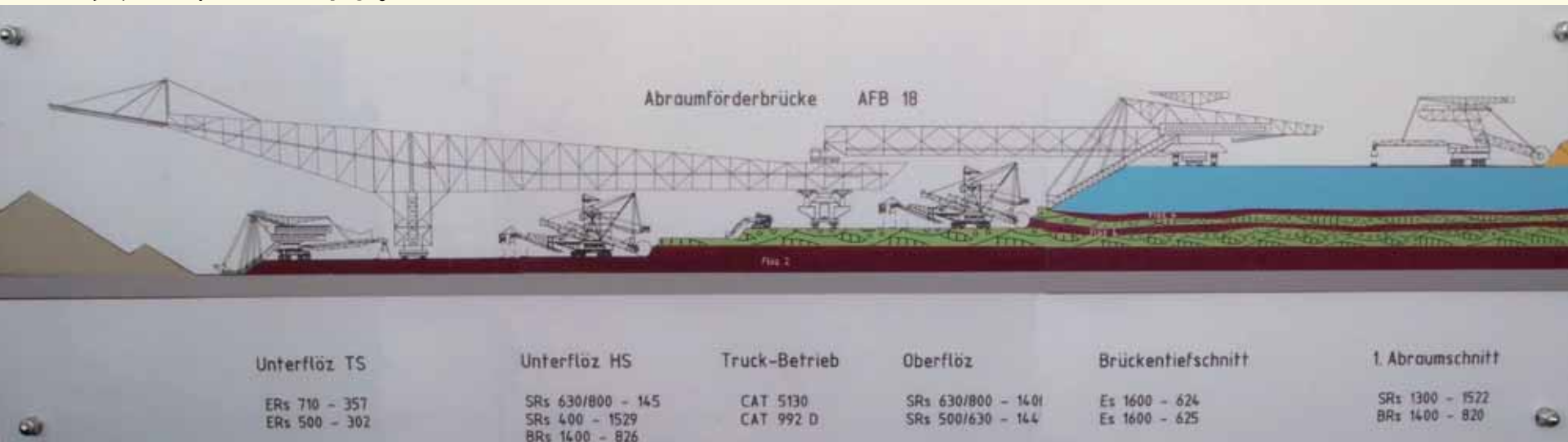
軍艦島（長崎・端島）

海底炭鉱の採掘のための施設やそこで働く人たちの集合住宅などが1890年代に次々に建設され、ピークの1960年代には人口5000人を超えた。しかし石炭需要の減少により、1971年に閉山して無人島となる。その後、廃墟と化した島内への立ち入りは長らく禁止されていたが、2009年から観光客の上陸・見学が許可され、「軍艦島クルーズ」が長崎観光の一つの目玉になりつつある。

重厚長大な工業地帯の風景は、自然の風景とは対極にありながら、なぜか同じように心が引きつけられる。それは20世紀の昭和を生きてきた私たちの一つの原因風景であり、記憶の拠り所となっているからかもしれない。

■ なごり景観 ブラウンフィールド(brownfield)の再生

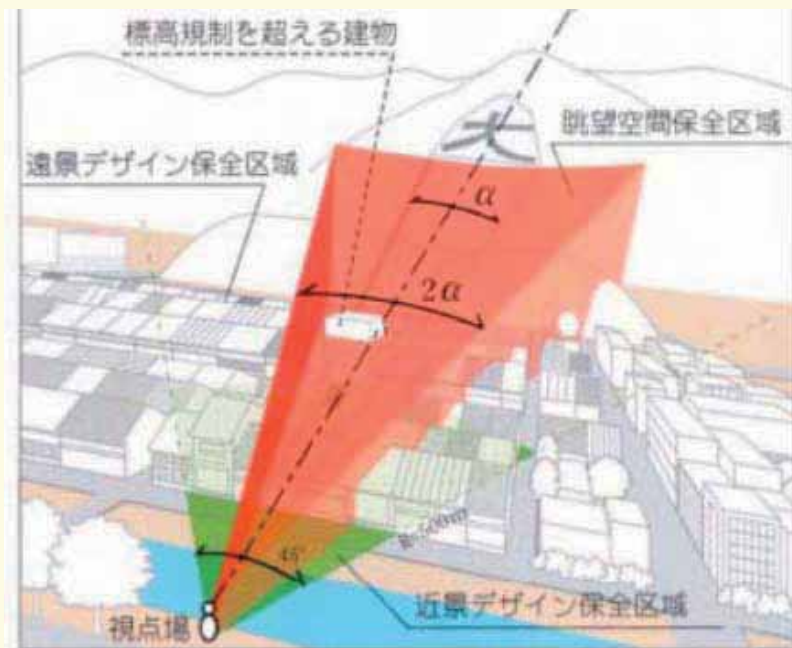
工場跡地など産業活動等に起因する汚染された土壌の存在、もしくは存在する可能性により遊休化した土地のことをブラウンフィールドと呼ぶ。



■ 景観保全の取り組み

2005年に制定された景観法によって、地方自治体が建物のデザインにまで踏み込み、色、形、看板や所有権等を制限して、景観の保全や改善ができるようになった。

なかでも先進的な京都市の景観条例は、清水寺など特定場所（視点場）から視対象への眺望を遮らないように、保全区域内に標高規制を定めて建築物の高さを制限するなどして「眺望景観」を保全しているところに特徴がある。



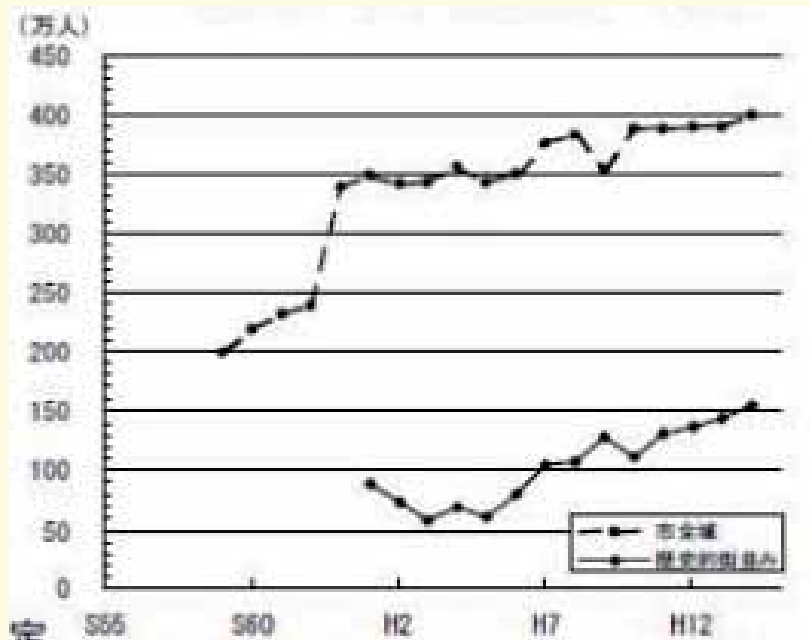
眺望景観の規制概念図(京都市)



京都タワーと京都駅

川越の取り組み

蔵のまちで有名な川越市は、雑多な屋外広告物や、乱雑な電線類などを撤去して街並みを改善した結果、1984年の交流人口約200万人から2002年に約2倍にも増加し、景観保全を通じた活性化に成功した例である。



川越市における交流人口の変化



川越の街並み

サウンドスケープ





ふみきりの音



ラムダ

ア

メ

横

マルセル

MARUSER
GRAN SINCE 1928

活きホタテ
活きサザナミ

コトブキゴルフ

ニホゴルフ

¥50



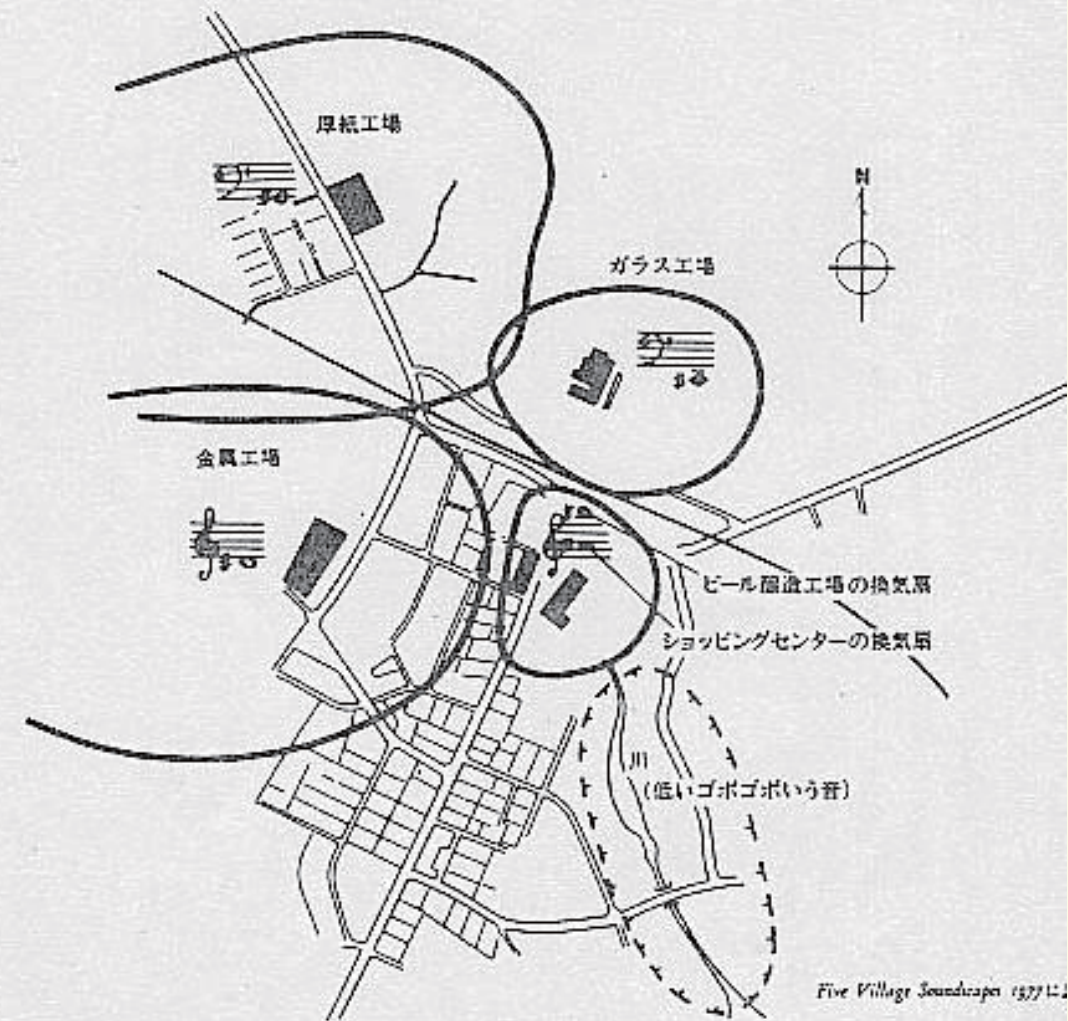


ベラクルツ、メキシコ

サウンドスケープの概念

- 1960年代末、カナダの作曲家マリー・シェーファーが著書「世界の調律」によって「聴く」という行為の反省を現代人に促し始めた。
- 「視覚中心の西洋近代文明に対する反省と聴覚文化復権の試み」といった思潮
- 「非楽音」を排除していた「西洋近代音楽の伝統」を打破し「芸術の環境化」を志向

スウェーデンの村スクールでは、
それぞれの工場が異なるピッチをもった音を
出している(157頁参照)。



ワールド・サウンドスケープ・プロジェクトが行ったフィールドワークから。

スウェーデンの村での 調査(フィールドワーク)

・マリー・シェイファー：
『世界の調律』平凡社、1986

「サウンドマーク」 (聴覚的な ランドマーク)



細く見通しのきかない古いローマの街路
↓
曲がりくねった道に迷う

噴水の音が聞こえ、それに導かれて、「トレビの泉」へたどり着くことができた

駅メロ

(高田馬場:鉄腕アトム)



残したい“日本の音風景100選”

平成8年 環境省(当時環境庁)では、「全国各地で人々が地域のシンボルとして大切にし、将来に残していきたいと願っている音の聞こえる環境(音風景)を広く公募し、音環境を保全する上で特に意義があると認められるもの」として「残したい“日本の音風景100選”」を選定しました。

例：関東 甲信 （残したい“日本の音風景100選”）



川越：時の音

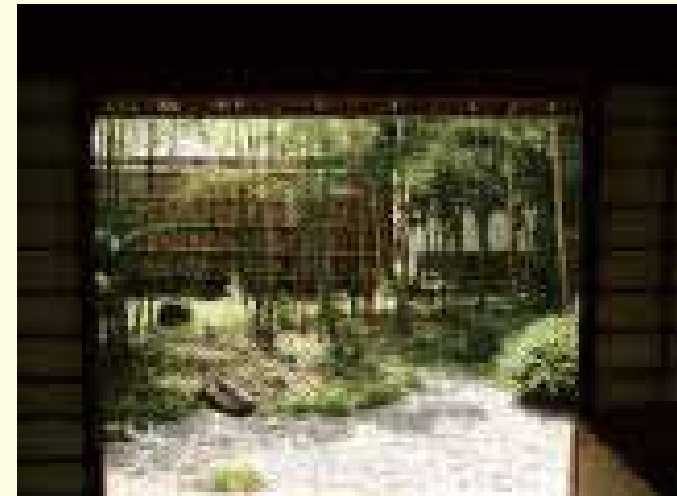


サウンドスケープを考慮した 音環境デザインの実践例

「瀧廉太郎記念館」(1992年 大分県竹田市) 庭園整備計画 鳥越けい子氏

「響きの庭」づくり: 少年時代の瀧廉太郎が『過ごした音環境を再現

- 竹の響き←竹林
- スズメその他の鳥や動物の鳴き声←竹林のほかに実のなる木を植える
- 溝川の響き←雨水処理の溝を拡幅して、そこに段差を設けて水を流す
- 井戸の音: 井戸を発掘して復元、保存
- 飛石と下駄の響き: 庭におりる来館者用に下駄を準備。地元の石を飛石や縁石に使用し、その他、敷石、玉砂利をしつらえる



嗅覚

スメルスケープ = かおり風景



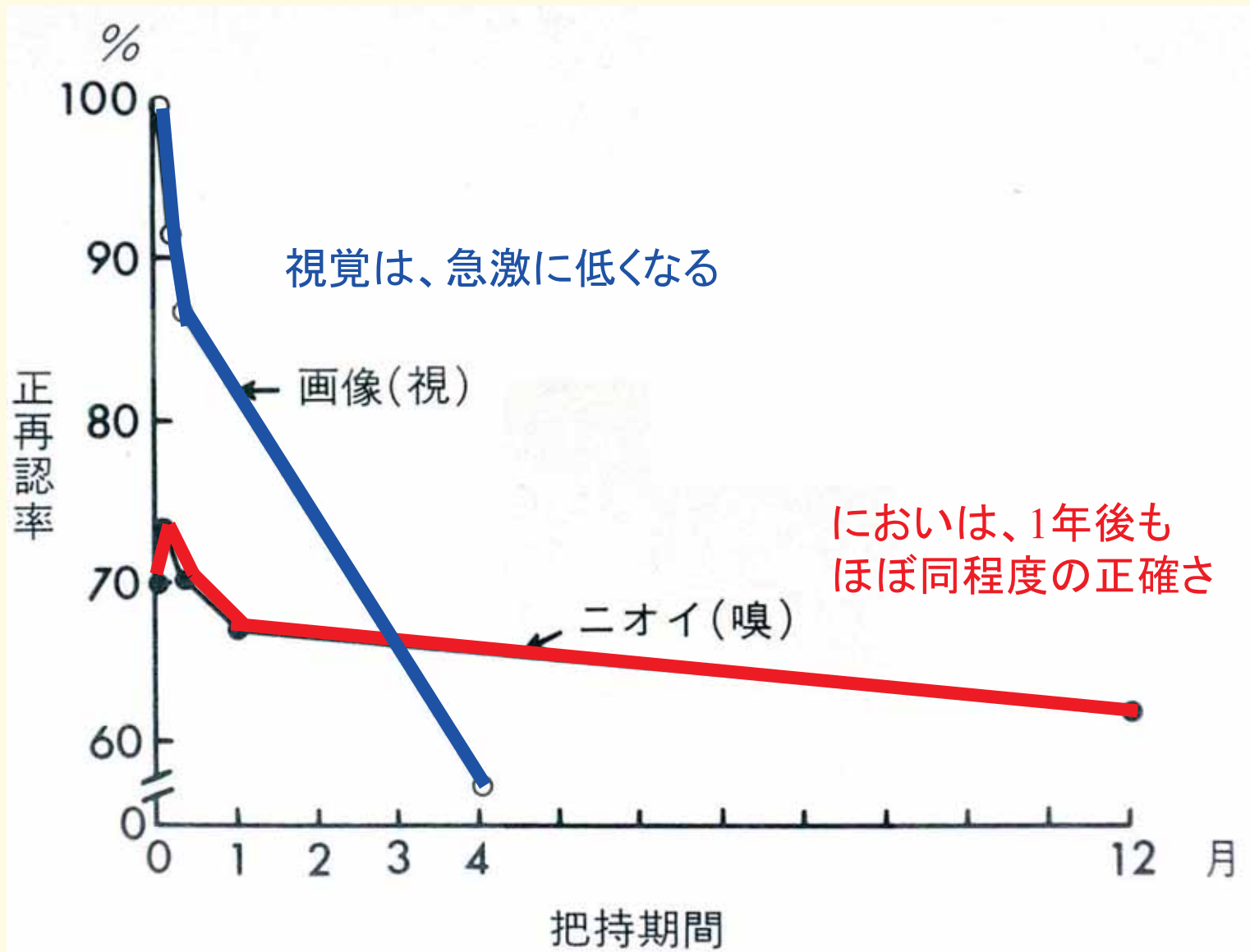
新橋ガード下

目黒のさんま祭り





酒蔵：福島県喜多方



視覚と嗅覚における再認率と把握時間との関係

対提示された刺激中、すでに経験した刺激を正しく再認する率の平均。

(Engen, 1977による)

T.エンゲンの「匂いの心理学」P116

国の取り組み (におい)

平成13年、環境庁では
良好なかおりとその源となる自
然や文化-かおり環境-を保
全・創出しようとする地域の取
り組みを支援するために、か
おり環境として特に優れたもの
100地点を「かおり風景100選」
として選定しました

伝えたいこの香り、

残したいこの風景。



かおり風景100選

KAORI FUKUKEI 100 SEN

日本には、私たちにやすらぎやゲンキをあたえてくれるすばらしい景色がたくさんあります。そんな景色を体全体で感じるとき、そこには必ずすばらしいかおりがあると思いませんか？環境省は、そんなかおりのある風景をいとおしみ、守りつづけている地域の方々を心から応援したいと思っています。そして、みなさまに愛されるかおり風景がこれからもずっと続くようにとの願いをこめ、「かおり風景100選」を選びました。







⑫ 鵜沼、金木犀の住宅街

所在地：神奈川県藤沢市

かおりの源：金木犀

季節：秋

小田急本鵜沼駅周辺の家屋の多くにキンモクセイが植えられており、花の時期にはキンモクセイのかおりが感じられます。住民の心がけによりかおりが保たれています。

⑩ 江東区新木場の貯木場

所在地：東京都江東区

かおりの源：製材の木

季節：一年中

貯木場を囲んで製材工場が建ち並び、周辺を歩くと製材の木のかおりがただよいます。深川木場から製材工場、木工工場、卸問屋が集団移転し、ここには全国から製材が集積します。

⑪ 神田古書店街

所在地：東京都千代田区

かおりの源：古書

季節：一年中

約200mにわたる古書店街の古書類から独特のかおりが漂います。明治時代より数多くの学生やサラリーマンなどに利用されてきました。特に秋には神田古本祭りが行われ、大勢の人々でにぎわいます。

鵜沼、金木犀の住宅街(藤沢市)

江東区新木場の貯木場

神田古本屋街

